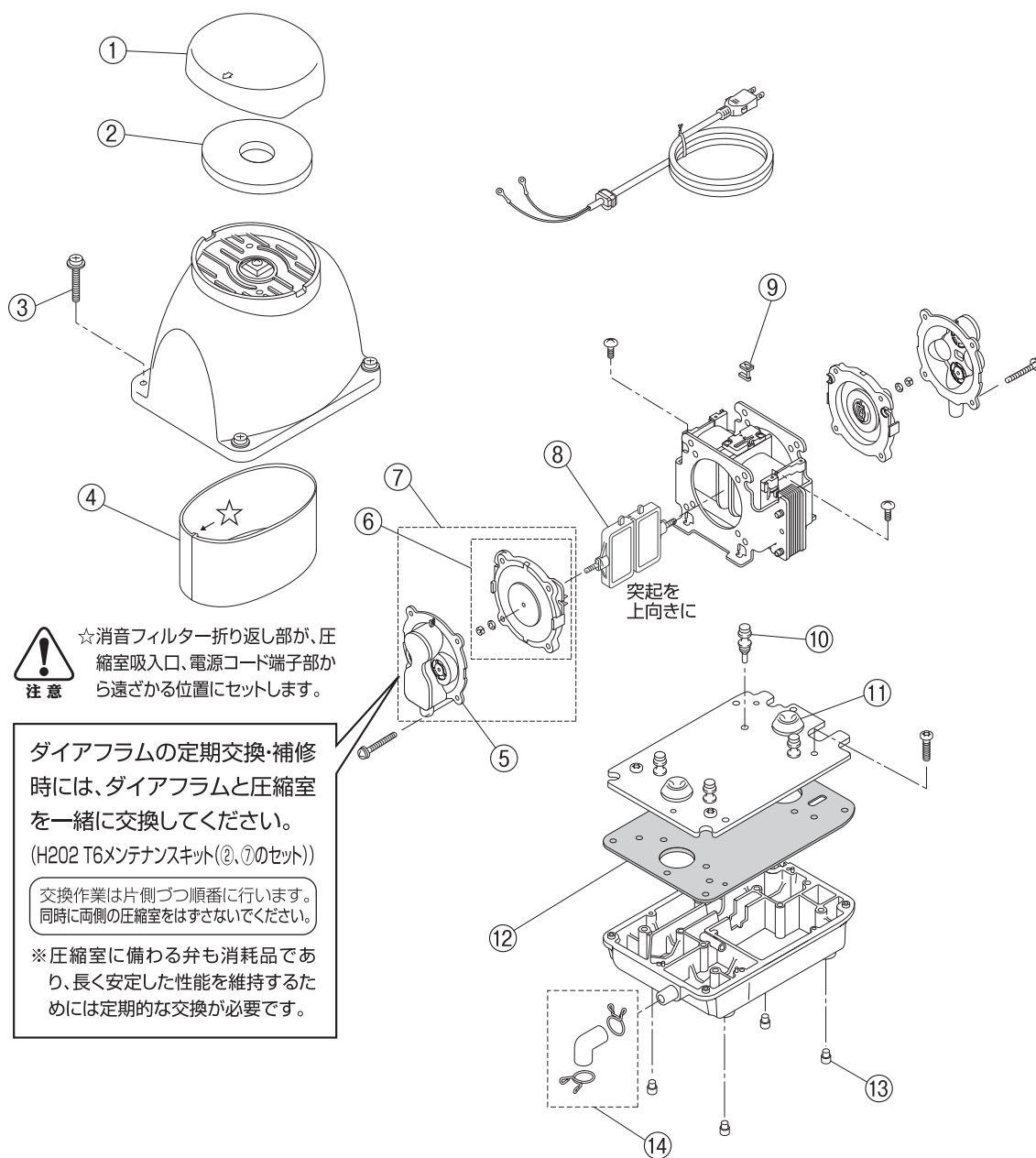


分解図・部品表



TM60E 補修部品リスト

No	品番	品 名	
1	H613S	N8フィルターカバー(シルバー)	(1個)
2	H508	N8エアフィルター	(1個)
3	H684	M5-20十字穴付六角ボルト	(4本セット)
4	H657	N6消音フィルター	(1個)
5	H118	T10圧縮室セット	(2個)
☆ 6	H015	T6ダイアフラムセット(★付)	(2個)
☆ 7	H153	T6ダイアフラム・圧縮室セット(★付)	(各2個)
8	H319	T6振動子セット(★付)	(1個)

(★)ナット・平ワッシャ

注意! ☆CAB5(CA専用ブロワ)とは異なる部品です。

No	品番	品 名	
9	H256	N6オートストッパーバー	(1個)
10	H658	N6防振ゴム	(4個セット)
11	H821	N6吐出グロメットセット	(2個セット)
12	H639	R10タンクパッキン	(1枚)
13	H659	N6脚ゴム	(4個セット)
14	H812	吐出ゴムホースセット	(1個)
15	H202	T6メンテナンスキット(②と⑦のセット)	(1個)

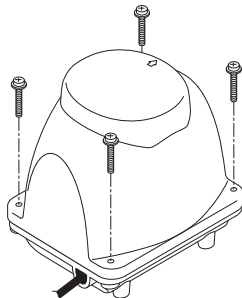
※構成部品は改良のため予告なく変更することがあります。

ダイヤフラムの交換

- 交換周期: 1年(ダイヤフラム・弁は1年毎の定期的な交換を必ず行ってください。)
- ★破損や故障の原因となるため必ず指定された当社純正部品をご使用ください。

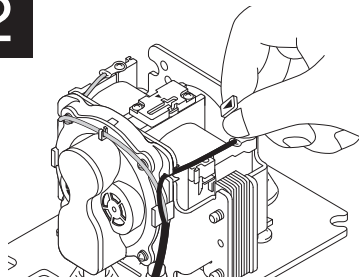
作業手順

1



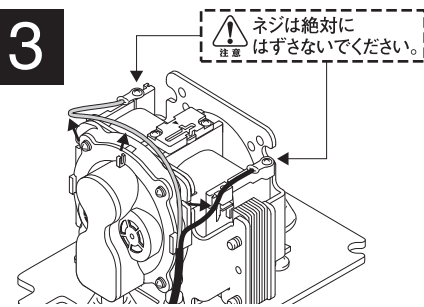
カバーボルトを8mmボックスレンチ又は十字ドライバーではずします。
※ボルトはなくさないようにしてください。

2



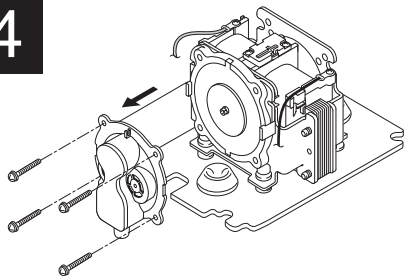
下図の「オートストッパーバーのはずし方」に従いオートストッパーを取りはずしてください。

3



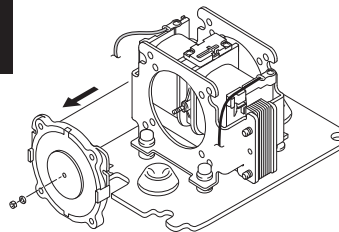
電源コードをフック(3ヶ所)からはずしてください。
注意: コードをとめているネジは絶対にはずさないこと!!
コードは強く引っ張らないこと!

4



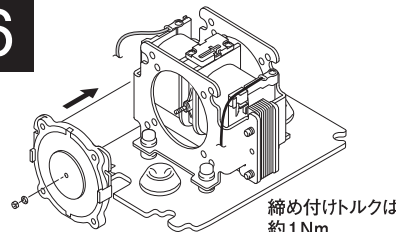
十字ドライバーで圧縮室のネジ4本をはずします。
※ネジはなくさないようにしてください。

5



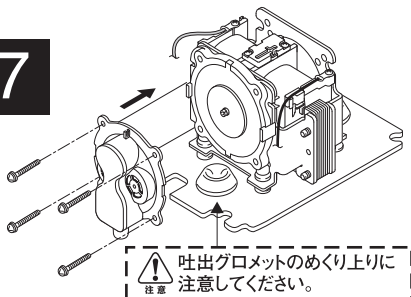
M3ナットを取り
本体よりダイヤフラムをはずします。

6



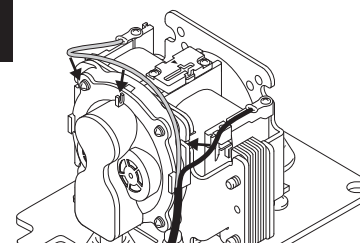
新しいダイヤフラムを取り付けます。
※M3ナットは付属の新しい物を使用してください。
M3ナットはボックスドライバ(ナットドライバ)で十分締め付け
てください。締め付けが足りないとナットが緩み、ダイヤフラム
が振動子から外れ、ポンプが破損するおそれがあります。
※締め付けにボックスレンチを使用しないでください。
使用した場合、振動子のボルトが破断する恐れがあります。

7



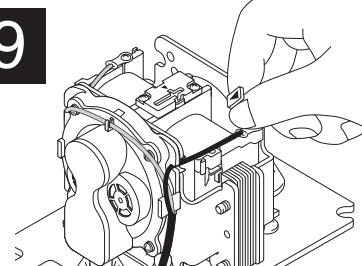
新しい圧縮室セットの吐出口を吐出グロメットにしっかりと
差し込み、ネジ4本で圧縮室セットを固定します。
続いて、反対側も4から7の作業を行います。
※ネジは少しずつ均等に締め付け、半締めのないよう
確実に締結してください。

8



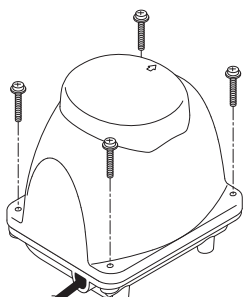
電源コードをフック(3ヶ所)にはめます。
※コードは他部品に当たらないよう
ゆとりをもたせて配線してください。

9



下図の「オートストッパーバーのはめ方」に従い、
バーを取り付けます。

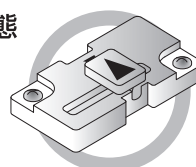
10



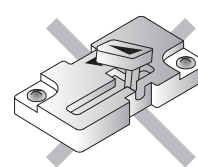
カバーボルトを8mmボックスレンチ又は十字ドライバー
で締めます。
※配線やゴミのかみこみやタンクパッキングがめくれたまま
締め付けずに注意してください。
※タンクパッキングが破損した場合は新しいものと交換してください。
※ボルトは少しずつ均等に締め付け、半締めのないよう
に確実に締結してください。

※作業終了後は必ず試運転を行い、正常に
運転されることを確認してください。

●オートストッパーの状態

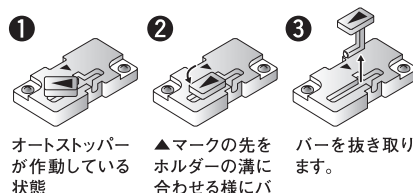


正しくセットされている状態



必ずカチッとなるまでオートストッパーバーを
押し込んでください。中途半端に装着されて
いると、故障の原因になります。

オートストッパーバーのはずし方

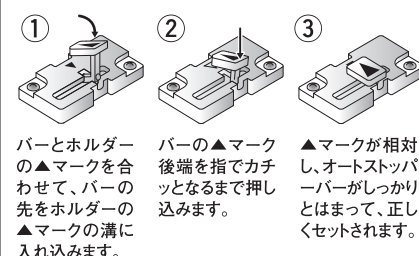


オートストッ
パー
が
作
動
し
て
い
る
状
態

▲マークの先を
ホルダーの溝に
合わせる様にバ
ーをまわします。

バーを抜き取り
ます。

オートストッパーバーのはめ方



バーとホルダー
の▲マークを合
わせて、バーの
先をホルダーの
▲マークの溝に
入れ込みます。

バーの▲マーク
後端を指でカチ
ッとなるまで押し
込みます。

▲マークが相対
し、オートストッ
パーがしっかり
とはまって、正し
くセットされます。